

第 182 回浜田市教育委員会定例会議事録

日 時：令和 2 年 7 月 29 日（水） 13：30～14：48

場 所：浜田市役所北分庁舎 2 階会議室 1

出席者：石本教育長 藤本委員 宇津委員 金本委員 花田委員

事務局 河上部長（欠席） 草刈課長 市原課長 鳥居室長

村木課長 濱見課長

書記：日ノ原係長 皆田主任主事

新型コロナウイルス感染防止に伴う出席者の調整のため、議題、報告資料のなかった猪木迫参事、龍河副参事、村瀧副参事、平岡室長、佐々尾分室長、細川分室長、三浦分室長、小松分室長は、欠席。

議事

1 教育長報告

2 議題

- (1) 令和 2 年度教育委員会学校訪問について（小中学校）（資料 1）
- (2) 令和 2 年度教育委員会学校訪問について（幼稚園）（資料 2）
- (3) 社会教育委員の選任について（資料 3）

3 部長・課長等報告事項

4 その他

- (1) その他

1 教育長報告

石本教育長

今年は、なかなか梅雨が明けず、7 月 13 日、14 日に大雨が降り、江の川水系で水害が起こってしまった。2 年前と全く同じ場所が被害を受けていると江津市教育長、それから川本町教育長からも聞いている。大雨のため、小中学校、高校も含めて休校にしたところもあったが、浜田市内はそういった休校や大きな被害等もなかった。災害に遭われた方々の、1 日も早い復旧を願っている。また、江の川の水位が上がって、バックウォーター現象が起こり、支流の水が本流に入らず氾濫してしまうようなことがあったようである。1 日も早く対策を行い、再び繰り返すことがないようにしなくてはいけないと感じたところである。

それでは資料に基づき、この 1 か月間を振り返る。今回も件数としては非常に少ない。

- ① 6月25日(木) 181回浜田市教育委員会定例会(2階会議室)
前回の定例会を6月25日に開催した。
- ② 6月26日(金) 市議会6月定例会議・表決・全員協議会(議場・全員協議会室)
市議会6月定例会が終わり、表決をいただいた。新型コロナウイルス感染症予防対策関係について、教育費も約2,000万円の補正予算を可決していただいた。
- ③ 6月30日(火) 市奨学金審査委員会(2階会議室)
貸与型の奨学金について、大学生7名、高校生3名への貸与を決定した。また、山藤功奨学金については大学生2名への給付を決定した。
- ④ 7月3日(金) 第70回社会を明るくする運動・総理大臣メッセージ伝達式(庁議室)
例年行われており、保護司会から市長に伝達をされている。
- ⑤ 7月9日(木) 市学校事務共同実施検討会議(2階会議室)
この1年間で行う計画等を検討する会議に出席をした。
- ⑥ 7月10日(金) 令和2年度第1回はまだっ子共育運営委員会(中央図書館)
実務者が集まって行う会議である。今回から委員のメンバーに浜田高等学校の校長先生にも加わっていただき、共育の広がりや高校へも検討していきたいと考えている。
高校の魅力化ということで、市内3校の高校が取り組んでいるが、その高校の魅力化を教育全体の魅力化に繋げるためにも、共育と連携をして取組もうということで、高校の校長先生に新たに運営委員会のメンバーに加わっていただいた。
- ⑦ 7月13日(月)(仮称) 浜田市協働のまちづくり推進条例(案)等に係る意見交換会(全員協議会室)
市議会の方々と市の執行部との意見交換会を開催した。まちづくり推進条例については、自治基本条例との関連性はどうかとか、地域協議会の役割がこれからは大きくなるといった話、地域協議会と議会との関係性はどうなのかという意見等があった。まちづくり総合交付金について、今後どうなるのかという意見も出た。
また、公民館のコミュニティセンター化について、まちづくり委員会や自治会への説明がまだ不十分ではないかという指摘もあった。まちづくりの進め方については、浜田市内と

どころで進み具合が違うという意見もあり、スタートは浜田市
内一斉に確立したような取組ではなく、地域に応じた柔軟な対
応が必要なのではないかという意見もあった。

また、まちづくりの戦略を作るのに、コーディネーター5名
くらいで組織を作るといった案が出ているが、どういった人材
を充てるのか、重要なポストであるためどのように決めるのか
という意見もあった。その様な意見交換会を、議会と市の執行
部とで行ったところである。

- ⑧ 7月14日（火）浜田市立学校統合計画審議会答申説明会・意
見交換会（美川公民館）

委員方にもご参加いただいた。美川では、最初に保護者の
方々への説明会を開催し、その後自治会の役員方への説明会、
そして地域全体への説明会を3回開催し、全部で5回地元へ説
明に行った。その中で色々な意見をいただいたので、それらの
意見を基に、今後の統合計画の案を教育委員会でまとめていき
たいと思っている。

- ⑨ 7月15日（水）浜田地区教科用図書採択協議会・調査員合同
会議（地場産センター）

来年度から使用する中学校の教科用図書の選定である。

- ⑩ 7月17日（金）渚の交番（be）開所式（瀬戸ヶ島）

瀬戸ヶ島の中に地域の集会所があるが、その先に新しくでき
た建物である。是非、近くに行かれた際には見ていただければ
と思う。渚の交番とは、海辺のパトロール、海の安全確保とい
うことを1つの大きな目的として作られた施設であり、なおか
つ、海の良さを知ってもらうために、海を活用した「ふるさと
教育」の拠点となる施設を目指したいということである。教育
委員会でも取組んでいる海洋教育の普及という位置づけもあ
ると思っている。

特に大浦の海岸では、カヌーやSUP等の体験活動をここ何年
間も続けてこられ、遠くから来た子どもたちが海に入った後
に、シャワーを浴びたり着替えたりできる施設がなく、不便で
あったため、そういったことも含めて活用できる施設である。
全額、日本財団の支援を受けて完成している。NPO法人浜田ラ
イフセービングクラブがこの施設の運営をされており、渚の交
番の所有者でもある。

- ⑪ 7月25日（土）市中学校夏季体育大会・陸上競技（陸上競技

場)

市総体が中止となり、それに代わる大会として市中学校夏季体育大会という名称で各競技が行われるが、その先頭を切って、陸上競技が行われた。こちらについても、委員方には顔を出していただき、ありがとうございました。

⑫ 7月27日(月)市議会7月臨時会議(議場)

後ほど細かい説明があるが、これについても新型コロナウイルス対策の関連予算ということで、教育費については257,000千円程度の補正予算の可決をいただいている。児童生徒1人1台のタブレット端末の整備、各小中学校にスポットクーラーを導入といった新たな事業の予算について可決をいただいたところである。

⑬ 7月28日(火)浜田ことばを育てる親の会要望活動(教育委員室)

⑭ 7月28日(火)ことばを育てる親の会三隅支部要望活動(教育委員室)

別々の団体が同じ日に要望活動をされた。同日に別々の時間帯ではあったが、要望の内容については同じ様な内容の要望であった。

ことばを育てる親の会という組織は、言葉やコミュニケーションに不安を抱えている子どもさんを育てておられる親御さんが集まり、子どもたちの子育てについて、みんなで協力し、考えながら取組んでいこうと活動されている団体である。

要望の内容については、ここ何年間か同じ様な内容ではあるが、1つ目が通級指導教室を担当される先生の確保と増員である。現在、通級指導教室があるのは、松原小学校、第一中学校、三隅小学校、三隅中学校の4校である。教員の人数としては、松原小学校に3名、第一中学校に2名、三隅小学校に2名、三隅中学校に1名である。文部科学省が定める基準が必ずという訳ではないが、児童生徒13名に対して1名の教員を配置するというのが基本となっている。そういう中で、浜田市においては児童生徒の数に対して教員の人数が少し少ない。毎年、県に対して教員の確保をお願いしているが、そういった要望があった。

それから、通級指導教室を担当される先生方が十分な研修を受けられるような学校内での環境の整備、併せて研修の充実、

教員の確保も含めて要望をされている。

それから、今年一番力を入れて要望をされたものが、幼児のための通級指導教室の設置である。小学校や中学校には通級指導教室があるが、その前の段階の未就学児の頃に相談できるようなところがないかということである。相談支援チームとって、学校の先生方、行政の職員も加わり、幼稚園や保育所を回り相談を受けているが、それとは別に1つの組織の中に通級指導教室を設置してほしいということである。具体的には、幼稚園に設置をするのか、小学校の通級指導教室の中に幼児対象の部門を設けるのか、そういうことを検討してほしいと要望があったところである。これについては、確かに必要性を感じているため、今後前向きな検討をしていきたいと考えている。

それから、高校生の通級指導学級について、県西部では邇摩高校にしかないということで、浜田市内の高校3校のどこかに設置できないかという意見もあった。これについては、県と調整をしていきたいと思っている。

1か月間の報告は以上である。

今のところで、質問等はあるか。

質疑応答

藤本委員

渚の交番についてだが、海には漁協があり、山には農協がある。海に関わることだが漁協は関わっているか。

石本教育長

渚の交番の設立そのものには、漁協は関わっていないと思う。どちらかといえば、海のパトロールの関係であるため、消防や海上保安部との関連性はあるが、直接漁協との関わりはない。ただ、「ふるさと教育」や「海洋教育」をしようとしたときには、漁協が海の関係で関わってくるため、当然、一緒に事業を連携していくことが必要である。

藤本委員

私も連携が必要であると思っている。よくJAは見たり聞いたりするが、海の場合はJFというが、あまり聞かない。そのため、関わりがあまりないのかなという気がしていた。

石本教育長

組合員の数も、JFよりJAが遥かに多い。組織的にも大きいため、出てくる場面がJAの方が多いたと思う。

藤本委員

「ふるさと教育」を通して、協力要請できるということか。

石本教育長

そうである。

藤本委員

承知した。

石本教育長	JF は昔は浜田市漁協として独立していたが、県で一つになったので浜田支部となり、多少組織的には縮小されている。
宇津委員	渚の交番についてだが、利用者の制限はあるのか。例えば浜田市内在住の方とか、島根県内の方とか、制限はあるか。
石本教育長	正式な利用について詳しく確認していないが、おそらく制限はないはずである。どこから来られても利用ができると思う。観光客が来られて利用したいときには、色々と相談に応じたりということも検討しておられる。
村木課長	開所式は終わったが、既に稼動しているのか。 既に稼動しており、教育長が言われるように色々コーディネートができる様な態勢を取っていると聞いている。
石本教育長	学校が利用する最初の日はいつか。
村木課長	今月中である。
石本教育長	3校くらい利用があると聞いている。
村木課長	既に学校からの要望も来ているとのことである。
宇津委員	管理運営しているのは、浜田ライフセービングクラブか。
石本教育長	そうである。持ち物が浜田ライフセービングクラブの団体の持ち物である。また是非、寄っていただければと思う。
	その他はよろしいか。
各委員	特になし。

2 議題

(1) 令和2年度教育委員会学校訪問について（資料1）

日ノ原係長	令和2年度教育委員会学校訪問については、4月の定例会で提案させていただき、今年度については、秋頃に実施するというところで決めていただいている。今年度の実施期間については、10月ということで提案させていただきたいと思う。具体的な日程調整については、別途行わせていただく。
	4. 訪問者であるが、教育長、委員方、教育部長、教育総務課長、学校教育課長、学力向上推進室長、総務企画係長の10名で予定している。
	5. 訪問内容であるが、順番としてはなるべく校内視察を行った後に意見交換、ヒアリングという順で考えているが、訪問時間によっては順番が逆になる可能性もある。
	意見交換のテーマについては、資料には令和元年度から過去5年間分のものを記載している。平成27年度以降については、小学

校のみのテーマ、中学校のみのテーマ、小中学校共通のテーマということで、丸で④、⑤と記載している。ここ数年を見ると、学力向上への取組みに係るテーマに加えて1つ2つ程度、別のテーマを設定している。今年度のテーマについて、ご審議いただきたいと思う。以上である。

石本教育長

ただ今、今年度の学校訪問の日程等について説明があった。時期については、今年度は新型コロナウイルス感染症の関係で延期になっていたが、10月に実施するということである。基本的には、10月の中旬から下旬にかけての実施になると思う。訪問者については例年のとおりである。

訪問の内容のところで、本日は意見交換のテーマについてご意見をいただければと思う。会議の中で中々まとまらない様であれば、8月の定例会までに考えて来ていただくことになるかもしれない。今の段階で、この様なテーマで意見交換をしたいという案があればご意見をいただきたいと思う。

藤本委員

過去の例の中で、いじめ等の問題行動、不登校の現状及び取組みについてとあり、このテーマについては毎年意見交換しているが、引続き今回も意見交換をしたいと思っている。

石本教育長
宇津委員

承知した。

今年度は特に新型コロナウイルス感染症に関わる休校があったため、それに関連して、学力向上の話題は欠かせないと思う。どの様な取組をして、どの程度まで回復していると把握されているのか、さらに学力向上のための対策をどのようにされているか、特に小学校課程については、新しい学習指導要領に基づく進行状況についても話題にしていきたいと思っている。

金本委員

やはり今年度は、新型コロナウイルス感染症に関わる休校で不規則な教育課程になり、学力向上以前の問題もあると思う。1つの検証として、困ったことや効果があったこと、危機管理的なことについてテーマにしてはどうか。

花田委員

今のテーマに関連して、学校現場の声ではマイナス面ばかりではなく、新しい生活様式となり、色々な行事がなくなったことで、先生も子どもたちも実はすごく安定している様である。授業の準備がゆっくりできることで、授業もとても分かるようになって、子どもものびのびしているという声もちらほら聞く。マイナス面もあったと思うが、あえて今の時期だからこそ、どの様な生活を送りどの様な姿になっているのか、良かった点も踏まえてそれを

石本委員

検証することで、学校行事等の中で不要なものもあったかもしれないということもこれを機会に整理できたら良いのではないかと思います。そのあたりの生の現場の声を是非、聞きたいと思う。

承知した。委員方から貴重なご意見をいただいた。

まず、藤本委員から、いじめや不登校についての取組や現状について毎年聞いているので、是非、引続き意見交換したいという意見であった。

宇津委員からは、新型コロナウイルス感染症に関わる休校後の授業の様子、学力向上対策についての取組み、併せて小学校から新しい学習指導要領が実施されており、その取組の状況についても確認と意見交換がしたいという意見であった。

金本委員、花田委員からは、新型コロナウイルス感染症の関係で、学校の状況が通常通りではなく新しい様式に移行している中で、休校が学校教育においてマイナスになった点、逆にプラスになった点を踏まえ、この機会に学校の在り方そのものを見つめ直すような視点から意見交換をしたいという意見であった。

また、事務局でまとめて文書にして、8月の定例会でお示したいと思うが、よろしいか。

各委員

はい。

石本教育長

8月の定例会までに新たに意見交換のテーマにしてほしいということがあれば連絡をいただきたいと思います。テーマについては以上であるが、学校訪問全体について、何かご意見、ご質問があればお願いします。

花田委員

10月の時点で、世の中がどのような状況になっているのか分からないところではあるが、私たちが準備をしておくべきことで気が付かれることがあれば教えていただきたい。

石本教育長

マスクの着用と消毒の徹底くらいかと思う。

学校訪問は5日半くらいの期間だが、昼食については学校で給食を食べることになると思う。新型コロナウイルス感染対策が必要ではあるが、一応、給食を食べるということに変わりはないか。

日ノ原係長

子どもと一緒に食べるわけではなく、別室で喫食するため、例年どおり予定している。

藤本委員

毎年、学校訪問していて気が付いたことが1点ある。今回、初めて口に出すが、ほとんどの学校が学校訪問で校長室を利用されるが、非常に狭くて意見交換する場としては窮屈なところもある。空き教室でもいいから、もう少しゆとりをもって座れるところを

準備していただきたいと思う。書類を広げることもしないような狭いところもある。毎年、同じなので考えてほしいと思う。座って意見交換ができる場所があれば、校長室でなくても空き教室でいいと思う。

金本委員 今年は特に距離を取らないといけないため、考えないといけな

石本教育長 体育館を体育で使っていなかったら、体育館で行うか。

藤本委員 体育館でマスクをとってやるなら楽かもしれない。

石本教育長 一度、校長会を第一中学校の体育館で行った。マイクを使って話をした。その辺の配慮は、学校側にお願いしたいと思う。

それでは令和 2 年度教育委員会学校訪問については、提案のとおり進めさせていただくということによろしいか。

各委員 全会一致で承認

石本教育長 次回の定例教育委員会で意見交換のテーマについてはお示ししたいと思う。ありがとうございました。

(2) 令和 2 年度教育委員会学校訪問について (資料 2)

日ノ原係長 幼稚園の学校訪問については、従来も秋頃に行っており、今回は 11 月に訪問実施をする提案である。

2. 訪問日程をご覧いただきたい。昨年も 3 園を半日かけて訪問している。今回も半日で美川幼稚園、長浜幼稚園、石見幼稚園の順で訪問を考えている。

3. 訪問者については、昨年度から幼稚園を担当する課の教育部参事、教育総務課副参事にも訪問者として加わっていただき、合計 11 名で訪問する予定である。

4. 訪問内容については、園内視察が 15 分程度、ヒアリングが 35 分程度としている。

意見交換のテーマについては、幼稚園は従来、具体的なテーマは設定せずに意見交換を行っているが、今年度についてもテーマを定めず意見交換を行うのか、それとも具体的なテーマを定めて行うのか、本日も審議いただければと思う。よろしく願います。

石本教育長 幼稚園の学校訪問では、子育て支援課の係長は訪問しないのか。

日ノ原係長 学校訪問では、係長は加わっていない。小中学校の学校訪問でも、学校教育課の学事保健係や指導相談係の係長も入っていないため、それと同じような形である。

石本教育長	承知した。 訪問者については、資料に記載がある 11 名である。それから幼稚園については、例年、意見交換のテーマを設定せずに自由な形での意見交換を行っているが、今年度についてもテーマを設けず実施することについて、意見等あれば願います。
藤本委員	例年どおりでいいと思う。
石本教育長	個人的に聞きたいことがあれば、その都度聞いていただければと思う。では、例年どおり意見交換のテーマについては設けずに自由な形で意見交換を行うということによろしいか。
各委員	全会一致で承認
石本教育長	その他のところで意見等はないか。例年、美川幼稚園、長浜幼稚園、石見幼稚園の順で訪問しているが、訪問する順番を変えたい等、意見はないか。
宇津委員	午前中で終わるのか。
日ノ原係長	そうである。
石本教育長	その他はよろしいか。
各委員	特になし。
石本教育長	それでは幼稚園の学校訪問について、事務局からの提案のとおり実施するということによろしいか。
各委員	全会一致で承認
石本教育長	ありがとうございました。

(3) 社会教育委員の選任について (資料 3)

村木課長	<p>浜田市社会教育委員の委嘱について、大変遅くなり申し訳ない。定数 13 名の中の 13 番目になるが、この度、委嘱の決定をいただくものである。</p> <p>浜田市社会教育委員について、浜田市社会教育委員条例第 3 条の規定により、新たに委員が選出されましたので、以下のとおり委嘱をお願いするものである。</p> <p>新規の委員として、植田由香理さんである。「NPO 法人あったかいねっと」の代表をされている方である。植田さんは、家庭教育の向上に資する活動を行う者ということで、この度推薦をさせていただく。植田さんは、先ほど申し上げた NPO 法人の代表であるとともに看護師の資格を持ち、介護支援専門員、相談支援専門員、児童発達支援管理者責任者、子育て支援員ということで、特に福祉に関する活動をされている。また、現在議論している協</p>
------	--

	働のまちづくり条例の検討委員の中の公募の委員としても活躍をされている方である。
	任期としては、決定から令和4年3月31日までということで、本日、決定をいただければ13名全ての社会教育委員が選出されたことになる。どうぞよろしくお願いいたします。
石本教育長	ただいま、事務局から説明があった。 質問等あればお願いします。 2月のまちづくり人づくりフォーラムの時のパネラーでもあった方である。
村木課長	そのとおりである。
石本教育長	家庭教育の向上に資する活動を行う者という選出区分だが、社会教育系より福祉系である。
村木課長	そうである。
石本教育長	委員方から意見等がなければ、社会教育委員の新たな委員として、植田由香理さんを委嘱するという事で決定してよろしいか。
各委員	全会一致で承認
石本教育長	ありがとうございます。植田由香理さんに委嘱をする手続きをよろしくお願いいたします。明後日くらいに第1回目の会議があるのではないか。
村木課長	そうである。

3 部長・課長等報告事項

草刈課長	令和2年度一般会計補正予算（第5号）説明資料（資料4） 7月27日の市議会臨時会議で提案し、可決された一般会計補正予算（第5号）の内容である。 今回の補正予算の主な内容としては、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策等に係る国の第2次補正予算関連事業及び新型コロナウイルス感染症対策として追加で取組む市単独事業について調整を行うものである。 予算規模については、829,325千円の追加である。 主な補正事項については、下段に3点挙げてあるため、ご覧いただければと思う。 2ページ目をご覧いただき、歳入のところで新型コロナウイルス関係では、国庫支出金から児童生徒1人1台端末整備事業費、それから県支出金から学校支援員配置事業費、それから寄
------	---

附金から学校施設購入費が主なところである。

歳出については、3 ページの下の部分の教育費をご覧いただき、補正額は 257,013 千円である。事業番号の 23 番、児童生徒 1 人 1 台端末整備事業として 223,115 千円の予算がついている。この事業の新規事業等実施に伴う説明シートとして 5 ページをご覧いただき、具体的な内容として児童生徒用端末の 1 人 1 台整備、それから指導者用の端末 1 人 1 台整備、GIGA スクールサポーターの配置、遠隔学習に必要な Web カメラ、マイクの購入である。

その他のところをご覧いただき、児童生徒用端末整備台数が 3,249 台、指導者用が 400 台である。それから GIGA スクールサポーターを 1 人、半年間配置する。それから遠隔学習に必要な備品、Web カメラ 1 台、マイク 1 台を全 25 校へ整備をする。

4 ページの 24 番、学校支援員配置事業については、新型コロナウイルス感染症対策として増加する教職員の負担を軽減することを目的とした補助事業の追加に伴うもので、スクール・サポート・スタッフを 4 名から 6 名に増やす。追加校は周布小学校と長浜小学校である。

それから学校支援員の追加配置ということで、1 人あたり平均 100 時間の追加である。

25 番については、学校施設における集団感染のリスクを下げるとともに、良好な授業環境の整備に係る内容である。スポットクーラーを小中学校 1 校あたり 4 台導入するというので、合計 100 台を購入する。

それから健康診断時の感染防止対策として、オートクレーブといって蒸気によって菌を減らすような機械や鼻鏡を購入する。

それから、トイレ等の水道の蛇口を回転式のものからレバー式に変える。合計 26,702 千円の追加である。

以上が今回の一般会計補正予算（第 5 号）の内容である。

行事等予定表（資料 5）

7 月 29 日から 8 月 31 日までの予定を載せている。委員方に出席をお願いしているところには丸を付けている。先ほども教育長から話があったが、浜田市中学校夏季体育大会が行われており、7 月 25 日には 1 番最初に陸上競技が行われ、8 月 4 日か

ら柔道等、各競技が行われている。8月9日に体操大会、8月10日には島根県中学校柔道交流会があり、スポーツの大会が開催されている。

8月7日には、雲雀丘小学校の第4回学校統合計画審議会答申説明会（意見交換会）を開催の予定である。委員方にはご出席をお願いしたいと思う。よろしく願います。

それから8月25日、第183回教育委員会定例会の予定である。簡単であるが以上である。

市原課長

令和2年度運動会及び学習発表会等日程（資料6）

運動会については、中学校が9月5日をスタートに石見幼稚園、長浜幼稚園が10月3日となっている。波佐小学校については、終わりの時間が今のところ未定ということで、午前中で終わるのか、お昼を過ぎるのか、分かり次第また報告をさせていただきますと思う。例年、昼をまたいでいるが、今年度についてはコロナ対策と暑さ対策を踏まえて、小学校では午後をまたぐ学校は3校、逆に中学校は午前中までで終わる学校が3校である。学習発表会については、今のところ資料に記載のと通りの予定である。

なお、運動会の来賓の取扱いについて、二中校区、三中校区については来賓の案内を行わず、日程だけお知らせをして、来賓についてはご遠慮いただくことにしている。他の校区については各校对応で、まだ決まっていない学校もあるため、次回の定例会で各校对応等についてお伝えできればと思っている。まずは、感染防止対策を十分に行うための準備を進めているため、ご理解いただきながら周知に努めたいと思う。

石本教育長

来賓の案内を行わないところは、二中校区、三中校区とのことだったが、浜田東中学校も単独で案内しないのではなかったか。

市原課長

二中、三中校区は正式な文書が連名で届いており、他の中学校校区については口頭では聞いたが、具体的にどうするのかその後のところが確認できていないため、今の時点での状況を説明させていただいた。

石本教育長

承知した。現時点では、原井小学校、雲雀丘小学校、松原小学校、周布小学校、長浜小学校、第二中学校、第三中学校、長浜幼稚園については、来賓の案内をしないということで間違い

市原課長 藤本委員	ないか。 そうである。 案内があっても、行くことで迷惑になることがあれば、当然行っ てはいけない。その辺り、学校はどういった感じだろうか。
市原課長	学校としては、地域の方、教育委員方、市議会議員の方々、来賓の方 がたくさんおられるが、例年であれば案内を出して、テントを用意して 来賓席を用意しているが、今年はコロナ対策のためテントの中もかなり 間隔を空けたり、色々な対策のため、来賓席の準備ができない。その ため、来賓としてのご案内はできないが、見に来ていただくことにつ いては拒んでいるというわけではないという感じである。
石本教育長	来賓席を設けることができないということである。私は出席を控えた 方がいいと思う。
金本委員	三隅中学校の学校だよりは、今年は来賓席も老人席も設けられないと 記載があった。
藤本委員	やはり、来てほしくないという意味合いだと思った方がいいのか。
石本教育長 藤本委員	保護者席からの応援や参加はいいと思う。 児童生徒のためには、1人でも2人でも見ている人が多ければ張り 合いがある。そう思って例年出席している。
金本委員 市原課長	今年は素性の知れない人は行かない方がいい。 今、お話いただいたことについて、共通でお伝えできることがあ ればまとめて、またお知らせしたいと思う。
金本委員	学習発表会についても、学習発表会という形ではなく、学習成果 発表会みたいな形で3学期に行うような話も聞いたが。
石本教育長	学校によって扱いが違おうと思う。ある学校は、今週は1、2年 生の学習発表会、翌週は3、4年生の学習発表会というやり方で、 多くの人が集まらないような体制を作るようである。学校側も色々 と工夫をされている。
鳥居室長	第4回(7月)市校長会資料(資料7) 資料の説明の前に、今までご案内した中で、変更あるいは中止を した研修があるため、口頭で申し訳ないがお伝えしたいと思う。 まずは、8月3日、4日に協調学習の研修会を計画していたが、3 日は浜田高等学校が県の指定校であるため、それに併せて市教委 も共催で行い、4日は市教委単独で行うが、高校

の先生方も行うというような形で計画をしていたが、色々な諸般の事情を考え、講師の東大 COREF の先生と相談をしながら検討した結果、リモートでの研修にすることになった。先生が直接来られることはないが、リモートでの研修を開催する。会場は浜田東中学校に変更している。浜田東中学校は今年の指定校であるため、変更させていただいた。

それからスーパーティーチャーの研修会を8月18日、20日と計画していた。8月18日の講師は大阪の森ノ宮大学教授の阿部先生にお願いしていたが、公共交通機関を利用して来られる予定であった。しかし昨日、大阪でのコロナウイルス感染者数が最多となり、教育長と相談した結果、中止にすることとした。研修では実際に授業をしていただく予定であり、リモートでやるという訳にはいかないため、中止とさせていただいている。

8月20日の研修では、環太平洋大学の前田教授に算数の授業をしていただく予定であったが、同様に移動中に何があるか分からないため、その辺りも配慮した結果、中止ということになった。まだ正式に文書をお渡しできていないが、次年度に今考えておられる内容で研修をお願いしたいと思っている。

内容については、中学校は学級活動でメディアについて子どもたちと議論をしたいといった計画を立てておられた。タイムリーなので次年度に是非、行っていただきたいと思っている。

算数については、小学4年生の表とグラフの授業を計画しておられたが、これも次年度に行っていただくようお願いしたいと思っている。資料を用意できず口頭でお伝えさせていただいたが、その様に変更しているため、よろしく願います。

資料7をご覧ください、市校長会資料について説明させていただきます。4月当初から授業改善の方向性について、学力向上推進室からの提案ということで取組を続けている。

1. 「めあて」の質の向上、充実を目指す取組について、以前もお伝えしていたが、具体性をもって伝わりにくいということで、新たな具体例を示させていただいている。資料の1番最後の資料A. 授業の質の向上をご覧ください、私が校長であった時に職員会議で出した資料を四角で囲んだりしながら定義づけをして、「めあて」を設定して児童とのやりとりをしながらやっていかないと児童が主体的に取組むことができないということ、先生が一方向的に「めあて」を示すことはよくない、とい

うことを提案している。併せて、授業改善のプレゼンをしていた学校もあり、その学校が校長室だよりに取組を紹介したデータももらっている。ここにはつけていないが、そのデータも校長会の時には併せて提示をし、みんなで取組んでいきましょうという話をしている。

7月の校長会の新たな提案として、2. 授業づくりは学級集団づくりとセットということで、授業ばかりに目を向けてはだめですよ、子どもづくり、学級集団づくりに向かって、どういった手立てを打つのかということをしっかりやっていく、つまり学級自治をやっていきましょう、ということ話をした。

学級自治ということはどういうことなのかということで、2ページをご覧いただき、学級自治とは言葉ではいうが一体どういったことなのか、あまり理解されていないところもあるため、改めて示させていただいた。若干、専門的な内容であるため、またご覧いただければと思う。

もう一つ、その学級自治を進めていくためには、学級活動が毎週1時間あるが、その中で3分の2程度、学級会をやりなさいということになっている。そのため、学級会が肝ですよ、という提案をしている。学習指導要領の解説の中から、授業改善に係る学級会での取組みに見合うところをピックアップして、是非、学級会が説教の時間にならないように、きちんとした学級会を行ってくださいと提案している。こういうことが、授業改善にも結びついていく。

3ページの4. 授業のために：子どもの学びチェックリストの活用を、ということで、チェックリストを活用した授業研究をしてくださいと伝えている。子どもがどんな姿で学んでいたのか、これを話題にしながら、そういう手立てが良かったから子どものそういう姿が見えたのか、あるいは黙り込んで悩んで、なぜそうなったのか、そういう授業研究を是非行ってほしいと提案している。

9月の校長会では、子どもの学びチェックリストを活用した具体例を示させていただき、一連の授業改善の提案については一応、一段落終えたことになろうかと思う。以上である。

村木課長

令和2年度旭公園水泳プールの運営について（資料8）

浜田市の直営運動施設である旭公園水泳プールについて、新

型コロナウイルス感染拡大防止対策を実施した上で、今年度も下記のとおり運営を行っている。

期間としては、7月20日から8月23日までで、開放時間は10時から16時までである。

昨年度は1,045人の来場者があったが、今年は夏休みが8月1日からということや、今もまだ梅雨が明けていないため、天候に比例して、今日現在で37人の来場者である。7月26日の日曜日が1番来場者が多くて27人であった。昨年は1日平均30人であった。8月1日から夏休みが始まり、梅雨が明ければ多くの来場者があるのではないかと思っている。

特に、新型コロナウイルス感染防止対策としては、脱衣所を中心に、ロッカーにおいては、1つ飛ばしで配置して、脱衣所自体は非常に天井が高いため、換気をしながら注意して、また、入場者の人数制限をしながら進めていきたいと思っている。

今年度は、受付で4名、監視員で6名の方と雇用契約を結び、8月23日まで安全で安心したプール運営に努めたいと思う。

濱見課長

びじゅつのサマーキャンプ展

企画展「日本遺産・外ノ浦」(資料9)

展覧会、企画展の紹介である。1つ目は、浜田市世界こども美術館で開催されている「びじゅつのサマーキャンプ展」である。新型コロナウイルス感染防止のため、計画を大幅に変更したが、何とか開催にこぎつけた。講師の先生が来られなくなったり、美術館の4階、5階には窓がないということで、夏休みで中々大勢の観客を入れることが困難なので、この度は1階の創作室を使うことにした。初めての試みであるが、時間で入替制にしたり、完全予約制にしたりして、工夫し、コロナウイルス感染予防対策をしながら実施することになった。宝くじの助成を使って行っている。

展覧会は既に始まっており、連日全て予約で埋まり、無事に開催できている。8月に入ると学校が夏休みに入るため、市内の小中学生の利用も増えてくると予想している。受入れできる人数も少なく、観覧時間も短いため、入場料は安めに設定している。通常とは違う形の展覧会になっているが、子どもたちや浜田を訪れた方々に「びじゅつのサマーキャンプ展」を体験していただければと思っている。

2つ目に、「企画展 日本遺産・外ノ浦～北前船寄港地を探る～」であるが、浜田城資料館で企画展を行う。

期間としては、8月1日から9月22日までの約2か月間、外ノ浦に特化した企画展を考えている。今も準備をしているところで、今週の土曜日からの開催である。貴重な資料や写真等を並べて、約2か月間展示をする。

今月と先月は、長浜人形展を開催しており、実は学校の利用も1件あり、長浜小学校の皆さんに来ていただいた。新型コロナウイルス感染症のため、来館者が正直戻ってきていないが、対策をとりながら行っていきたく思っている。それから新型コロナウイルス対策として、浜田市世界こども美術館、郷土資料館、他の施設もそうだが、特に関東地方等で感染者が増えてきているため、来館者の記名やどこから来られたのかについては、いざとなったときに追えるように、来館者の方には極力ご協力をいただきながら開催している。是非、足を運んでいただければと思う。以上である。

石本教育長

資料4から資料9まで説明があった。その他資料のないところで各課長から報告事項はあるか。

各課長

特になし。

石本教育長

それでは委員方から質問等あればお願いします。

質疑応答

藤本委員

資料4の補正予算のところで、トイレ等の水道蛇口のレバー式化であるが、全部の幼稚園、小学校、中学校を合わせたらかなりの数であると思う。

草刈課長

そうである。2,000個くらいである。

藤本委員

それからスポットクーラーとはどういうものか。

市原課長

窓付近に置いて空気を入れ替える、結構大きな送風機のようなものである。

石本教育長

スポットクーラーのカタログのコピーを見てもらえたらと思うので、後でお配りする。

日本遺産・外ノ浦企画展については、小中学校に配布しているか。

濱見課長

配っていない。

石本教育長

小学校低学年には難しいかもしれないが、小学4年生以上や中学生に全員配ったら、夏休みに来てくれる子がいるかもしれない

濱見課長
石本教育長

い。今から配布するのは間に合わないか。検討してみるように。
承知した。

来館者を増やしたいと思う。外ノ浦について、松原小学校は色々と勉強しているため、案内することで来館されるのではないかと思う。

金本委員
石本教育長

子どもが行けば、大人も一緒に行く。

大人が連れていくので大人も行ってくれる。夏休みの宿題にならないか。

中学校の夏季体育大会についてだが、中体連から直接、委員方に案内は届いているか。

藤本委員
石本教育長
金本委員
市原課長

特になし。日程表は何ヶ月も前に届いている。

日程が決まったのは確か6月後半か7月の頭頃だった。

同じものが2通届いている。

開催の決定については6月3日に決まり、中体連から関係者に送付している。

石本教育長

この前、陸上の大会があったが、中学3年生の最後の大会ということで頑張っていた。是非、時間の都合がつきましたら会場に足を運んでいただければと思う。

その他はよろしいか。

各委員
石本教育長

特になし。

それでは報告事項については以上とさせていただきます。

4 その他 (1) その他

石本教育長
各課長
石本教育長

事務局からその他何かあるか。

特になし。

その他のところで、委員方からご報告やご質問があればお願いする。

各委員
石本教育長

特になし。

今年は短い夏休みになるが、水の事故がなければいいと心配している。校長会の中でも児童生徒への指導についてお願いをしているところである。始業式の日にはみんな元気な姿で登校してくれることを願いながら、今日の会を終了とする。

次回定例会日程

定例会 8月25日(火) 13時30分から 北分庁舎2階会議室

次々回定例会日程

定例会 9月30日(水) 13時30分から 北分庁舎2階会議室

14:48 終了